

この峠越して余生に灯をともす

田中 たづ子

やるせなや地球の生理あので震

佐藤 哲夫

茨道くぐって母の背もまるく

竹本 タエ子

つまづいてアッ年だなど身にしみる

磯部 佳子

コキコキと首鳴らしつつ古稀を生く

藤井 節子

このとうげこしてよせいにひをともす

たなか たづこ

やるせなやちきゅうのせいりあのじしん

さとう てつお

いばらみちくぐってははのせもまるく

たけもと たえこ

つまづいてあっとしだなどみにしみる

いそべ けいこ

こきこきとくびならしつつこきをいく

ふじい せつこ

みかん摘む空へ園児の笑ひ声

藤岡 久美子

島中の集う心や大どんと

田中 孝利

初風呂にそつと手足を伸ばしけり

春吉 智子

Jポップ聞きつ仕上げる冬構

峯岡 明子

玄関の把手に袋冬りんご

光井 加代子

みかんつおそらへえんじのわらいごえ

ふじおか くみこ

しまじゅうのつどうこころやだいどんと

たなか たかとし

はつぶろにそつとてあしをのばしけり

はるよし ともこ

ジェイポップききつしあげるふゆがまえ

みねおか あきこ

げんかんのとつてにふくるふゆりんご

みつい かよこ

星ひとつ月の砂漠に居る気分
独り占めする朝のゴミ出し

山口 正子

検診後多く語らぬ母の目を
バックミラーに覗き込みたり

松永 美千代

ささいなこと老いては意外と幸せに
思える隣の猫のまどろみ

江川 詳子

カーウインドウへばりついたる冬の蝶
温めるので休んでお行き

賤間 星

ふあふあおと欠伸押える老いの身の
陽なたばかりの暮しが続く

原田 たえこ

ほしひとつつきのさばくに
ひとりじめするあさのごみだし

やまぐち まさこ

けんしんごおおかたらぬははのめを
バックミラーにのぞきこみたり

まつなが みちよ

ささいなことおいてはいがいとしあわせに
おもえらるとなりのねこのまどろみ

えがわ しょうこ

カーウインドウへばりついたるふゆのちょう
あたためるのでやすんでおゆき

ざいま ほし

ふあふあおとあくびおえるおいのみの
ひなたばかりのくらしがつづく

はらだ たえこ

自由律俳句

ニュースとびかう元旦 箸をそろえている

田中 律子

孫の夢といっしょに社へ

西岡 悦子

中也を開くこんな冬の日

佐川 智英実

しゃぼん玉追う君の背中がまぶしい

賤間 由美子

新しい箸で大人の顔するおかわり

松下 満江

ニュースとびかうがたん はしをそろえている

たなか りつこ

まごのゆめといっしょにやしろへ

にしおか えつこ

ちゅうやをひらくこんなふゆのひ

さがわ ちえみ

しゃぼんだまおうきみのせなかがまぶしい

ざいま ゆみこ

あたらしいはしでおとなのかおするおかわり

まつした みつえ